

《沖縄協同病院の理念》

- 人権といのちの尊厳を守る、無差別平等の医療を行います。
- 地域と共に平和で健康に暮らせる、まちづくりを行います。

はいさい

《沖縄協同病院医師研修理念》

- 基本的診療能力を身につけることを第一の目標とし、患者を「一人の人間」として捉え、「患者の幸せ」を追求できる医師を養成します。

外来受診にAI問診をご活用下さい



沖縄協同病院の一部外来において、AI問診を取り入れています。対象は一般内科と整形外科です。AI問診とは、スマートフォンやタブレットを使用しAI(人工知能)が患者さんの症状に合わせて最適な質問を自動で生成し詳細な問診を行うシステムです。従来の紙媒体や固定化されたWEB問診とは異なり、患者さんの回答に応じて質問が変化するため、より深く症状を把握でき医師の診察をサポートし、待ち時間短縮につながります。

他にも、医師の前では話しにくいことも入力しやすく、伝え忘れを防ぐ事にもつながります。また、自宅でご家族が入力することも可能です。付き添いが難しい時は、前もって気になることを入力することで医師に伝えることができます。「沖縄協同病院 スマホ」で検索して下さい。2026年1月からは、初診用にくわえ再診用も表示されています。受診の際は、ぜひ活用してみてください。

1階外来 師長 新垣 亮樹

第19回

県連 看護・介護活動研究交流集会開催



2025年12月13日(土)とよみ生協病院講堂にて、会場とzoom視聴のハイブリッド形式で第19回県連看護・介護活動研究交流集会を開催しました。

本交流集会は、日々の看護・介護実践を振り返り、分析・考察することで、より質の高い看護・介護の提供を目指すことを目的に毎年開催されます。2025年度は「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護・介護」をテーマに沖協、とよみ生協、中協、知花の里、かりゆしの里から20演題の発表がありました。会場・zoom視聴含め100名以上、特に会場は途中椅子の追加をするほど多くの参加があり、発表内容は患者・ご家族支援と取り組みに関する内容から、患者・ご家族に寄り添い支える側のスタッフへの学習に関わる内容など、研究成果を共有することができました。交流集会が終わったばかりではありますが、県連看護研究委員会はさっそく次年度の交流集会に向けた取り組みを始めています。

また次回の交流集会で、各院所の看護・介護活動成果を共有できることを楽しみにしています。

手術室 師長 上原 さゆり

病院の活動状況 <2025年12月度>

- ・外来一日平均患者数：243人 (前年同月比 -62人)
- ・入院一日平均患者数：256人 (前年同月比 -5人)
- ・組合員利用分量(率)：65.2% (前年同月比 +6.0%)

その症状、危険かもしれません!! 症状がなくても危険かもしれません!!

いのちの健康

228 内科より



皆様、心房細動という病気を
ご存知でしょうか?

心房細動は不整脈と呼ばれる心臓病のひとつですが、近年の日本において増加傾向にあります。原因は様々ですが、生活習慣に大きな影響をうけ、年齢とともに増加します。心房細動が生じると動悸や息切れ、めまいやふらつき、胸部不快感など様々な症状がでますが、一方で全く自覚症状がない患者様も多くいらっしゃいます。しかし、心房細動をそのままにしておくと、心不全や脳梗塞という重篤な病気を合併してしまう非常に怖い病気で、適切な治療が必要です。以前は心房細動を治すことは難しいとされてきましたが、2000年頃からカテーテルアブレーションというカテーテル手術により治る病気となり、近年ではその技術や医療機器の進歩により治療成績や安全性が向上してきました。当院でもカテーテルアブレーションを積極的にを行い、1人でも多くの患者様の心房細動を治すべく奮闘しております。

しかし、発症後多くの時間が経過してしまつた心房細動はカテーテルアブレーションを行つても治りにくいとされており、早期発見、早期治療介入が必要です。当院では早期に心房細動を見つかるべく、近年小型化され使用しやすくなった長時間心電図やスマートウォッチ等を使用し、早期発見に努めております。

一方心房細動の管理には、カテーテル治療以外にも薬物治療、生活習慣の改善、併存疾患の管理等の多方面からの介入が必要です。不整脈医師のみでなく、他科の医師を含めたスタッフ一同で心房細動を治せるよう力を合わせて診療に望んでいます。

皆様、自分の症状に心当たりはないでしょうか? 症状はなくても健康診断で心電図の異常を指摘されていないでしょうか? 自宅の血圧計で不整脈と出ていないでしょうか? そのままにしてしまい、心不全や脳梗塞を発症する前に一緒に手を打ちましょう。たとえ診断がついていなくても相談を大歓迎しております。

循環器内科外来医長 佐土原 洋平

フードサポート



今回、古波蔵地域の低所得世帯や子育て世代を対象としたフードサポートのボランティアに参加しました。私は主に、物品の入ったダンボールを持ち運ぶことが難しい高齢者の方や、徒歩で参加された方をご自宅まで送迎する役割を担当しました。支援物資を前に「どうやって持ち帰ろうか悩んでいたのが助かった」「無料の送迎があって本当にありがたい」といった声を直接聞き、この活動が生活に深く関わる支援であることを実感しました。食料を提供するだけでなく、不安や困りごとに寄り添い、人と人をつなぐ温かさのある取り組みだと感じました。

地域連携室 宮沢 すず



<ご意見>

5階病棟のスタッフの皆さんの仕事ぶりには本当に感謝でいっぱいです。ありがとうございます。今回は希望として意見したいと思います。

今、抗がん剤の治療をしていて、個室を利用させていただいています。個室には冷蔵庫がなく、共有の冷蔵庫を利用していますが、抗がん剤の副作用で体がきつい時その場所まで行くことが出来ず、看護師さんへお願いをしています。しかし、忙しくしているのが分かるので、喉が渇いてもギリギリまで我慢してしまいます。部屋内であれば無理して取りに行く事も忙しく仕事をしている看護師さんの手をお借りしなくても良くなります。どうかご検討をお願いします。

<回答>

この度は、感謝のお言葉とご指摘をいただきありがとうございました。

抗がん剤治療後のだるさや吐き気のある中で、なんとか食べられるものを飲むものを摂取しようと頑張っている患者様の気づきに感謝します。また看護師や看護補助者が忙しそうということで気を遣わせてしまって申し訳ありません。冷蔵庫の配置に関して、お気持ちは分かりますが当部署では全患者様に対し、対応できない状況となっています。

今後ご不便の無いよう、より一層訪室時の声掛けや、病室の位置の配慮を心がけていきます。また、お気づきの点があればお声かけや投書など宜しくお願いいたします。

5階病棟 師長 砂川 沙織



宮良おとちゃん



大道颯輝ちゃん

Instagramやってます @okikyo.sanka



私の部署のいいところ

みなさんこんにちは、ICUで勤務している看護師の外間です。

ICUは重症患者さんの回復を最前線で支える部署です。多職種が密に連携し、判断力やチーム力が日々磨かれるのが魅力です。

集中治療認定看護師や呼吸療法士、特定行為研修を修了した看護師も在籍し、より専門的で迅速なケアを実践しています。

新人看護師も受け入れており、新人看護師一人ひとりの成長を大切にしたい育成体制を整えています。「わからないままにしない」「一人にしない」ICUで、安心して専門性を高めていきます。

新人期から高度な知識と判断力を段階的に身につけられます。一緒に学び、支え合いながら、最善のケアを届けていきます。大変さの中に成長とやりがいがある部署です。

ICU/HCU 看護師 外間 貴光



委員会活動報告 45!感染対策リンクスタッフ委員会



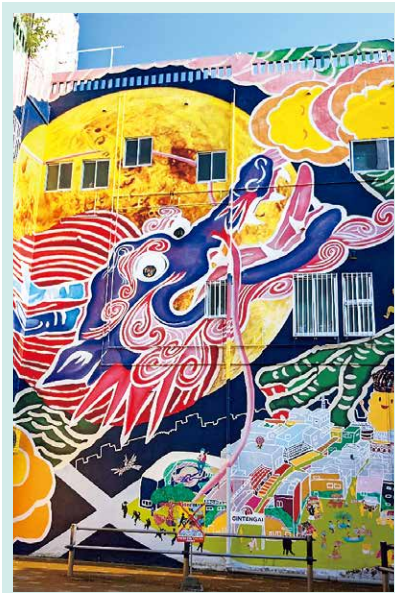
感染対策リンクスタッフ委員会は、院内での感染伝播を防ぐことを目的に活動しています。日々の業務の中で実施している手指衛生や、感染対策における部署の課題解決をするために、各部署から選出されたリンクスタッフで活動に取り組んでいます。感染対策を通じて安全、安心な医療が提供できるようにこれからも活動に励んでいきたいと思います。

来院される皆さまにおかれましても感染対策へのご理解とご協力よろしくお願いします。

感染管理認定看護師 松本 幸作

長さ180メートル、やさしい龍が舞う

銀天街「コザ十字路絵巻」・沖縄市宮里



瞳がとてもやさしいコザ十字龍

コザ十字路近く銀天街入口付近に巨大なドラゴンがいる。道行く車をギョロリとらみつけ、その緑色のからだを180メートルもくねらせている。街のシンボル「コザ十字路絵巻」コザ十字龍(ロン)の壁画が完成したのは2015年。当時、旧十字路市場を中心に繁盛していた銀天街は、2000年頃から大型スーパーの進出などで急激に衰えていた。

建物の老朽化や高齢化で店を閉める者も増え、街はシャッター商店街と化した。2009年、国道拡幅工事で道路沿いの立ち退きが決まる。アーケード大屋根が崩壊寸前なのに撤去するお金がない商店街は、内心ほっとした。しかし工事を終え、残されたのは廃墟のような剥き出しの壁。

だが、「頑張ろう銀天街!」と、県内外のプロアマ10名が立ち上がる。4年をかけ、熱き心で手描きの絵巻を完成させたのだ。



チャンプルー文化が所狭しと描かれた絵巻。見ごたえあり!



コザ十字路はjazz・ソウル系の音楽

絵巻には市場のおばさん、尚円王、阿麻和利、鬼大城、お笑い的小那覇舞天、照屋林助、人種差別時代に旧黒人街で輝いたジャズマンたちほか、時代の明暗ごちゃまぜで「コザチャンプルー文化」が無数にちりばめられている。車を降りて、ゆっくりと眺めてみたいものだ。

さんぽ人 宮城 じゅん